

自民党区議会議員 24年4月号No.56 毎月1回発行

とりがい秀夫の地域ニュース

南千住8-3-3-201 電話&FAX (3807) 4811

携帯メール torigaihideo@ezweb.ne.jp



汐入公園 噴水開始 4月28日

数年来の寒い冬も過ぎ、気持ちの良い春を迎え、道行く人の足取りも軽やかになってきました。先日まで汐入公園内に咲いた桜の周辺では家族・グループ連れで敷物をひいてお弁当を食べている方々の姿が目につきました。噴水の周りには子供たちが噴水の水が出るのを待ちどろしい様な風景が見られます。今年の噴水の供用開始は4月28日から10月までと公園事務所で伺いました。時間は節電の影響もあり10時から4時となっています。



25・26日に試験的に水の出を確認し、いよいよ地域で待望の噴水が供用します。

ボランティア花壇の花満開

現在、汐入公園内の**住民ボランティア花壇**の中で花が見頃を迎えています。チューリップは盛りが過ぎ、これからはスイトピー・デルフィニューム・マーガレット・・・等々でしょうか。平成20年、10区画で始まったボランティア花壇も現在は、35区画迄に増えました。これからも公園内の空き地を利用して花壇も増設していく方向だと伺いました。課題は「花を育てるにも、肥料代がかかるので大変だ」と利用者からも伺っていたので、公園側をお願いをしていたところ、今年も6～7月には肥料を提供してくれるとの話を伺いました。【花壇の場所の確認は公園事務所で】



今年も6～7月には肥料を提供してくれるとの話を伺いました。【花壇の場所の確認は公園事務所で】

防犯カメラ運用開始式開催

23 台確保 24 年 3 月完成

本紙、11 月・12 月号で紹介した汐入地域全域の治安を強化するための、街角に防犯カメラを設置する工事がこの度終了し、4 月 5 日に防災センター【町会事務所】で運用開始式を行いました。式典には西川荒川区長・警視庁生活安全課長・南千住警察署長・萩原町会長・高山商店街理事長、地元役員等が参列。カメラの台数は 23 台で、経費の概算は 1 台



38 万円、合計約 900 万円です。この内、町会・商店街の負担は 150 万円(経費の 6 分の 1)です。この地域は電柱が地中化しているため、電源は各カメラごとにソーラーパネルで対応します。カメラの対応年数は 8~10 年とされています。次回の更新時期には区が今回と同じような負担をしてくれることを確認しました。汐入の防犯カメラをモデルに今後計画している商店街も増えてきました。カメラ設置の背景には、数年前から汐入公園内での紙切り散布事件、小年による放火事件等も影響しています。

200 台近い防犯カメラが町会・住民を見守る

この他、汐入地域の各住棟にもエレベーターホールを中心に 5~10 台位が設置されています。地域全体では 200 台近い防犯カメラが作動し、この町を見守っています。しかし、身を守る基本は、自分自身であることには間違いありません。

通信カラオケテレビ配置・全てのふれあい館

高齢者の寝たきり防止対策に寄与・4 月から稼働

高齢者の皆さんの多くが運動不足にあり、それに伴い足腰が弱くなり、結果として介護認定者が多くなっています。今年から「ころばん体操」以外にもメニューを増やし、寝たきりになりにくい体作りを目指します。その一つに、ふれあい館に歌いながら体を動かすメニューが入ります。問い合わせー各ふれあい館

胡録神社こども神輿まつり

当日のお手伝いを募集します！

打合せ日—5月19日(土)集合夜6時50分

場所 胡録神社社務所 対象一年齢問いません

町内を渡御

日時 6月3日(日)朝9時開始 胡録神社前集合

中神輿・小神輿・山車が町内を渡御します

9時～1時頃 最後にお菓子が出ます—参加して下さい



明治大学マンドリン倶楽部演奏会 I N 荒川

日時 24年5月12日(土)

PM5時30分開演・4時30分開場

会場 サンパール荒川大ホール

料金 2,000円

発売場所 とりがい事務所 3807-4811

演奏曲目 古典音楽・日本の音楽・世界の音楽

名残雪・慕情・枯葉・坂の上の雲・阿久悠メドレー。他



日光道中を歩く 草加宿～越谷宿

日時 5月13日(日)午後1時

集合 メトロ南千住改札口 20名位の方が参加しています

雨天 順延(20日)解散 4時頃 大袋駅

行程 南千住—新田—歩き—越谷宿—大袋駅 約7キロ

日光まで挑戦しませんか！

地域の歴史を訪ねて-21

汐入に実在した魚市場①

関東大震災の影響で2年間開業



汐入の地にもかつて、魚市場が実在した。という歴史を知る人も少なくなってきましたので、今回はその話をさせていただきます。大正12年9月1日・関東大震災が発生し、約10万人が犠牲者となりました。当時、日本橋にあった魚市場も打撃を受け、芝浦に仮移転します。当時、芝浦の市場に搬送される魚類の多くが茨城方面から「隅田川貨物駅」に集積してきましたが、そこから先の東京市内の道路や交通手段は壊滅的な影響で搬送できず、ほとんどの魚類が廃棄処分となりました。このような状況を危惧した地元の人々の力により、南千住8丁目（当時は10丁目）汐入の地に「千住鮮魚販売所」として魚市場が開設することになります。【続く】